

1 単元 つくって ためそう いろんうごき～多様な動きをつくる運動遊び～

2 指導の立場

＜子どもの実態から＞

子どもは、「1－2 マットランド」において、マット上でいろいろな方向に転がったり、手で支えての体の保持や回転をしたりしてきた。そこでは、身の回りの動物やものを模倣しながらマットを使った運動遊びに取り組むことで、楽しみながら運動に取り組んできた。このような子どもが、自らの運動を振り返ったり、遊びの場を工夫したりすることで、より運動の楽しさに触れることができるだろう。

そこで、単元を構想するにあたっては、次のような教材を設定する。

＜教材について＞

本教材は、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動き等を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、伸び伸びと体を動かしながら、様々な基本的な動きを身に付けることができる教材である。また、運動そのものの楽しさに触れることを目指し、自ら工夫しながら活動に取り組むことができる教材だと考える。子どもは自らの活動を人数や姿勢などを視点に、より楽しい遊びになるように、遊びの場を工夫しながら取り組むことで、様々な動きを習得していこう。ここでは、動きや遊び方のよさを伝え合いながら、運動を楽しもうとする子どもの姿を大切にしたい。そこで、指導にあたっては、次の点に留意する。

＜指導上の留意点＞

- 第一次では、様々な運動の場を体験し、遊びの場の工夫の視点を共有する活動を設定する。そうすることで、次時からの活動への見通しをもつことができるようにする。
- 第二次では、自分なりの楽しさを視点に、遊びの場を工夫する活動を設定する。そうすることで、動きを広げたり、高めたりしながら取り組むことができるようにする。
- 第二次では、工夫した遊びを共有する場を設定する。そうすることで、自分や友達の遊び方のよさを見付けながら、多様な動きに触れることができるようにする。

3 目標

- (1) 多様な動きをつくる運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けることができるようにする。

〔知識及び運動〕

- (2) 多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。

〔思考力、判断力、表現力等〕

- (3) 運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

4 well-beingにつながる学びについて

本学園では、well-beingを「個人だけでなく、社会や地球環境まで含めた全体的に良好な状態」と捉えている。well-beingの実現には、教科等の本質に迫る授業で身に付けた資質・能力を、人生において自在に発揮できる子どもを育成することが必要不可欠である。そのためには、エージェンシー（変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力）の育成及び発揮が重要な課題であると考えます。

本学園の体育・保健体育部では、他者と協働しながら運動の楽しさや喜びを見出したり、感じたりする子どもを育成する授業が、教科の本質に迫る授業だと捉えている。また、エージェンシーを発揮している姿を、運動を楽しみながら、様々な場や規則を工夫し、動きを高めようとする姿だと捉えている。本単元においては、自分がより楽しいと思えるような場を創る活動を設定する。自分なりの遊びの楽しさを見出し、その場で楽しんだり、より楽しくしようと遊び場を工夫したりしている様相がエージェンシーを発揮した姿だと考えている。

このような学習を経験した子どもは、「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を通して、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力が育成され、well-beingの実現につながるだろう。

5 指導と評価の計画（総時数 10 時間）

次	学習活動・内容	エージェンシーを発揮するための手立て	知	思	主
一 ①	○ 運動の場を体験し、遊びの場の工夫の見通しをもつ ・運動の行い方 ・遊びの場の工夫の視点 ・場の準備や片づけ方 ・安全な遊び方	○ 様々な運動の場を体験し、遊びの場の工夫の視点を共有する活動を設定する。そうすることで、次時からの活動への見通しをもつことができるようにする。	① 観察		① ② 観察
二 ⑧ 本時 6 ／ 8	○ 運動を行い、お気に入りの場を探しながら、工夫の見通しをもつ ・運動の動きや楽しさ ・遊び場の工夫の見通し ● 工夫しながら遊ぶ ・遊びの場の工夫 ・動きの広がり ・動きの高まり ※移動、用具、バランス、力試しの順に2時間ずつ繰り返す	○ 自分なりの楽しさから、視点を定め、遊びの場を工夫する活動を設定することで、動きを広げたり、高めたりしながら取り組むことができるようにする。 ○ 工夫した遊びを共有する場を設定することで、自分や友達の遊び方を価値付けながら、様々な動きに触れることができるようにする。	① WS ② 観察	① ② 観察 WS	① ② 観察
三 ①	○ 自分のお気に入りの遊び場や、工夫を紹介する ・自分なりの楽しみ方 ・自他の運動の楽しみ方 ・運動の工夫			② 観察	① 観察

知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 多様な動きをつくる運動遊びの行い方について、言ったり、実際に動いたりしている。 ② 基本的な動きをすることができる。	① 多様な動きをつくる遊びの場を工夫している。 ② 友達の動きや遊び方のよさを見付けたり、工夫した遊びの場を友達に伝えたりしている。	① 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとし、きまりを守り友達と仲よく運動をしようとしている。 ② 場や用具の安全を確かめている。

6 本時案 ー第2次・6時分ー

- (1) 主眼 バランスを保つ運動遊びが楽しくなるように工夫し試し合う活動を通して、場の工夫を伝えたり、友達の遊び方のよさを見付けたりすることができる。
- (2) 準備 平均台、マット、ボール、ラバーライン、バランスクッション・ボード
- (3) 学習の展開

学習活動・内容（発問）	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
1 前時の学習を振り返り、本時の学習の見通しをもつ どのように遊びの場を工夫するか ・ 本時の活動の見通し ・ 場の工夫の視点 2 遊びの場を工夫しながら、運動をする 自分のお気に入りの遊びの場をどう工夫するか ・ 自分なりの楽しみ方 ・ 遊びの場の工夫 ・ 動きの広がり 友達はどうな遊びの場の工夫をしているか ・ 自他の取組の価値付け ・ 動きの高まり	ア 前の時間には、バランスをとるような遊びをしたね イ 遊びは、難しくしたり、簡単にしたりできたよね ウ 遊びの場を工夫する時には、人数や使うものなどを変えればよかったね ア 平均台から落ちないように歩いたり、マットで揺れたり、バランスが取れるか取れないかが楽しいね イ 平均台の上を歩くのが楽しかったな。手を着きながらも渡りきれるか試してみよう ウ マットの上で足を持って転がったり、戻ったりするのが難しかったな。手を離して勢いをつけながらやってみたいな ア 平均台を渡る時に、ボールを手や頭に乘せて、落ちないようにしているのが楽しそうだな イ 友達と背中を合わせて立つ遊びを、人数を増やしてもできるのか試したいね ウ 相手のバランスを崩す遊びで、手押し相撲を片足にしたり、ボールを使ったりしていたよ エ 簡単にしたり、難しくしたり、友達の工夫がとても面白かったな	・ 遊びの場と、場の工夫の視点を共有する。そうすることで、見通しをもち学習に取り組むことができるようにする ・ 自分なりの楽しさを基に、遊びの場を工夫させる。そうすることで、多様な動きに触れることができるようにする ・ 遊びの場の工夫をそれぞれの場で共有する。そうすることで、自他の取組を価値付けながら、多様な動きに触れることができるようにする ・ お気に入りの遊びの工夫をタブレットで撮影し蓄積することで、単元の終末で紹介をする際に、自他の取組を価値付けることができるようにする ・ 運動をより楽しくするために行った遊びの場の工夫を紹介する活動を設定する。そうすることで、自他の運動の行い方のよさに気付くことができるようにする	5 35 45
3 自他の遊びの場の工夫や、遊び方のよさを振り返る 自分や友達の遊びの場はどこが楽しかったか ・ 運動への関わり ・ 自他の取組の価値付け	ア 僕は、平均台でよりバランスがとりにくくなるような工夫をしてみたよ イ 友達はマットの場の工夫をしたんだね。どんな運動になるか試してみたいな ウ 友達が難しくするように工夫をしたから、何度も挑戦できて楽しかったな		

(4) 評価規準と方法

より楽しくするために、人数や姿勢、用具などを変更し、遊びの場を工夫しながら運動に取り組み、それらの工夫を友達に伝えたり、友達の遊び方のよさを見付けたりすることができたか、発言やワークシートからみとる。

< 参考資料・メモ >

○場の設定

ホワイトボード

ものの上を
渡れるかどうか

落ちずに渡れるかどうか

用具置き場

- ・ ボール
- ・ ラバーライン
- ・ バランスボード
- ・ バランスクッション等

寝転んだり，起き上がった
りできるかどうか

倒れないように姿勢を保持
できるかどうか

立てるかどうか